



## 第14回研究会 2023年2月11日

スパルタンイングリッシュ第14回は昨年に引き続いて、恒例企画！あきた COFS&英語授業研究会協同企画の「4月から教壇に立つ学生の不安や悩みに応える」です。教員採用試験に見事合格し、来年度から教員デビューをする若い先生たちのための特別企画です。

第1部は「若手英語教員奮闘記」として、現在、教師としてバリバリ働いている秋田と青森の若手の先生から、等身大の体験談を語ってもらいました。

第2部は「4月から教壇に立つ学生の不安や悩みに応える」として、少人数のグループに分かれて、先輩の先生方に不安なこと、疑問なことを聞いたり、アドバイスをもらったりざっくばらんにお話する時間にしました。

採用試験に合格した大学4年生を中心に、来年度に採用試験に挑戦する大学生、さらにアドバイザーとしてベテランの先生、合計10名の参加がありました。

## 第1部「若手英語教員奮闘記」

---

佐藤栞夏先生（仙北市立角館中学校）

### (1) 自己紹介

現在、中学校1年生の学級担任、3クラスの英語の授業を担当している教員になって、車の運転を本格的に始め、駐車が最近上達してきた

### (2) 教壇に立って戸惑ったこと

子どもたちと楽しい生活、笑顔いっぱい生活、毎日が楽しいという理想を抱いて先生になったが、実際は「新任式？入学式？学級開き？学級通信？保護者への電話？面談？生徒指導？部活指導？事務作業？職員会議？通知表？とたくさんの仕事に追われる毎日

### (3) 教師になってよかったと感じる時

行事などを通してクラスの団結、何かを進んでやってくれるなど生徒の前向きな変化、「授業楽しい！」「来年も担任になって！」など生徒がかけてくれる声  
学生の時にお世話になった先生との再会(一緒に働けること)、自分のスキルが役に立った(word・excel等パソコン関係)、自分の授業や仕事のスキルアップ(学級通信がだいぶ早く作れるようになった)

### (4) 英語の授業

#### ●困ったこと・うまくいかなかったこと

- ・学習規律・授業の進め方
- ・授業の準備：自分が満足するまで、授業の準備をすることがなかなか難しい
- ・定着を図るには？



- ・大学で学んだことと現実とのギャップ

○うまくいったかなあと思うこと・心がけていること

- ・大学での経験を紹介(留学などの写真)
- ・楽しそうに ALT と話す
- ・生徒の意見を取り入れること

#### (5) 4月までの過ごし方

●やっておけばよかったこと

- ・趣味を見つける→気持ちをリセット
- ・授業のネタをストックする(warm up のネタ集め)
- ・新任式や学級開きの情報収集

◎やっていてよかったこと

- ・勉強会への参加
- ・英検などの資格をとること
- ・メンタル強化
- ・健康的な生活

#### (6) おまけ

困ったとき・行き詰まったとき…

- ・たくさん話す(大学の先生、友達、同じ学校の先生)
- ・運動・ゲーム・旅行…リフレッシュする

☆健康が1番!

☆「先生になりたい!」今の気持ちを忘れずに!

### 新潟 桂先生(東北町立上北小学校)

#### (1) 自己紹介

教員5年目

現在、英語専科として3つの小学校の外国語の指導にあたっている  
マイブームは自分好みの半熟卵を作ること。

#### (2) 学級担任として

① 大変だったこと

- ☆ 4月、1番最初の会議。何っっっにも分からない…。
- ☆ 「主任が忙しそう…」→「一人で何とかしよう!」として大失敗💀
- ☆ 怒涛の初任者研修、普段の授業準備が追い付かない…
- ☆ 常に時間に追われ、仕事が終わらず、家に持ち帰り…
- ☆ 自分の時間がない…



- ◇ 子どもから「先生、最近いつも怒ってばっかじゃん！」
- ② やりがい
  - ◇ 「できた!」「やった!」子どもたちのキラキラした笑顔
  - ◇ 授業終了後でも「先生できたよ!」「こうかな…」と挑戦し続ける姿
  - ◇ 日々の小さな成長を子どもと一緒に喜び合える
  - ◇ 「先生、大好き!」時折もらう子どもたちからのお手紙
  - ◇ 不登校傾向や家庭の事情により、個別支援していた子からのメッセージ
  - ◇ 最後のお楽しみ会とき、子どもたちが自分たちで考えて準備してくれたサプライズ
- ③ やってよかったこと
  - ◇ 日ごろから学年の先生と世間話的に情報交換
  - ◇ 決めた学級のルールは「見える場所に掲示」し、「徹底」する
  - ◇ 叱ったら、必ず後でフォロー。放課後は笑顔で帰宅させる
  - ◇ トラブルは必ず双方に事実確認し、その日のうちに解決
  - ◇ 子どもを頼る・任せてみる
  - ◇ 「スキマ時間」の使い方を子どもたちと話し合っておく
  - ◇ 最低でも月に1日は「なーんにもしない日」を作る

### (3) 英語専科として

- ① 大変だったこと
  - ◇ 東北町で新設された専科教員→相談しても「どうしようね…」
  - ◇ 3校巡回、18学級担当、週27コマ（今年度は15学級+委員会/クラブ担当、週25コマ）
  - ◇ 所属感の薄さ&英語の授業について相談できる人が少ない…
  - ◇ 週1・2時間勝負、子どもたちとの信頼関係が築きづらい
  - ◇ 休んでいる子への後補充もできない
  - ◇ 外国語活動室…などはないので、各学級の教室環境に合わせて活動
  - ◇ 全学級の評価
- ② やりがい
  - ◇ 1つの教科だけに集中でき、教材研究の時間がたくさん!
  - ◇ 同じ授業を繰り返しできるので、すぐ改善、すぐ実践
  - ◇ ALTといつでも相談できるので、ALTを活用した活動も!
  - ◇ ALTにいつでも英語の質問し放題
  - ◇ 色々な学年・学級が見れる
  - ◇ 学校ごとの様々な行事等にも触れられる
  - ◇ 子どもたちから「英語、楽しい!」「英語が好きになった」
- ③ やってよかったこと
  - ◇ 各クラスの座席表をいただいて、気づいたことは即メモ
  - ◇ 気になることはなるべくすぐに学担と共有
  - ◇ ALTに任せられそうなところは願います



- ◇ 自分のiphoneなども駆使しながら、ICT教材を活用
- ◇ 発表は自分のタブレットで撮影・提出させる

#### (4) おすすめコーナー

- ① 「スキマ時間」 どうしよう！  
→ なぞなぞ本・脳トレ本・英語のビデオ (YouTube)
- ② 時間がない！でも困ってる！  
→ ぱっと見て分かりやすい教員向け書籍を買っておく
- ③ 本を手取る気力すらない…でも何かためになるものを知りたい…  
→ YouTube や Instagram の教員向けアカウント
- ④ 総合所見のネタがない…！  
→ そうなる前に「みんなのいいところ見つけノート」

## 第2部 「4月から教壇に立つ学生の不安や悩みに応える」

ブレイクアウトルームに分かれて、4月から教壇に立つ学生の悩みついてぎっくばらんに語りました。

学生から出された悩みとしては・・・

- 実習の授業で「話す」活動をした際に、みんな型にはまった同じような英語になってしまった。型にとらわれず自由に話させるようにしたいがどうしたらよいでしょうか？
- 1年目はリクルートスーツで行かないと、だらしないと周囲から見られてしまうと聞きました。どんな服装で行けばいいのでしょうか？
- 実際に先生として生徒と関わる場合、生徒を叱らなければならない場面が必ず出てくると思います。自分にそれができるかどうか不安です。

### 長先生から

教員としてぜひ名前を覚えた上で、児童生徒に接してほしい。「名前を覚えること」は教育の基本中の基本です。間違っても「はい、その君」とか「次、後ろの人」とのような授業はしないこと。

### おわりに

佐藤栞夏先生と新岡桂先生の児童生徒と近い視線と距離間で一生懸命に向き合っている様子を聞いて、そして念願の教員採用試験に合格し、「楽しみだけどちゃんとできるかどうか不安」というプラスとマイナスの感情を抱えた学生たちとのやりとりを通して、「あ～、自分もそうだったな～」と初心に帰ることで、4月からのエネルギーをえました。そして、自分が佐藤先生や新岡先生のような若手の時、確かに大変だったけど、いろんな先生がアドバイスをくれたり、フォローしてくれて何とか毎日がんばれた時のことを思い出しました。当時（今もあまり変わっていませんが）だいぶ生意気だった僕に先輩の先生がこんな風にアドバイスしてくれました。



「剛くん，社会人として優秀な人は，自力で何でもできる人じゃないんだよ。それは誰からも助けてもらえないし，教えてもらえない人ってということだからね。むしろ，この人にならいろんなことを教えてあげたい，助けてあげたいって思える人であることの方が大事なんだよ。」

佐藤栞夏先生と新岡桂先生のお話の中にもあったように，困った時・悩んだ時は自分一人で抱え込んだりしないで，周りの先生方に話して，どんどん助けてもらってください。

4月から教壇に立つみなさん！応援しています！

(文責：佐藤 剛)